東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2010 年 7 月 23 日

秘められた、あるいは一時的なニカー（宗教上の婚姻）

親愛なるムスリムの皆様。

家族は民族の基盤であり、社会の核です。家族なしに民族は存在し得ないのです。一つの民族の力は、家族のあり方の健全さに結びついています。結婚し家庭を築くことは、精神的に、肉体的に健康である全ての人の最も自然な権利であり、必要不可欠なニーズでもあります。

アッラーは人間をこのニーズと共に創造されました。人類が最後の審判の日まで継続していくことを望まれた崇高なる主は、これを神の規則として、男性と女性が共にいることと結び付けられました。これが、神が示された基準に従った形である時、それをニカー、結婚と呼びます。この道は預言者たちの道でもあります。預言者たちは結婚し、それぞれのウンマに結婚し数を増やすことを勧められたのです。

親愛なるムスリムの皆様。ニカーは、結婚することに支障のない男女が、一切の強制や圧力を受けることなく、証人の前で互いの承諾を明らかにすることによってなされます。ニカーのない状態でなされる、結婚関係以外の、－その名前が何であれ－一時的な同棲はイスラームにおいて禁じられています。法的な責任を伴わないこれらの行為は全て、イスラームが目的としている健全な家族構成の反映からかけ離れたものです。こうした行為が、特に女性を困難な状況に陥れ、男性もその高潔さを損なうことは周知のとおりです。ニカーは血統や次世代を守り、社会構成に安定をもたらす一つの契約であるべきである、ということは決して忘れてはいけません。

親愛なるムスリムの皆様。秘められたニカー、あるいは一時的なニカーと表現される一部の行為は、私たちの世代において、特に先進国で広まり始めたものです。しかしこの状況は、取り返しのつかない形で道徳の破壊、逸脱をもたらしました。次のことを決して忘れないでいてください。イスラームの教えは、婚姻関係が継続を前提としてなされるものとしており、ニカーが健全なものとなるためにもこれを条件としているのです。新しい一つの家族は、ただ宗教上及び法律上有効であるニカーによってのみ築かれます。様々な理由をつけてなされる一時的な、あるいは秘められたニカーは、私たちの教えにおいては有効ではありません。預言者ムハンマドは「ニカーは、皆に明らかにしなさい」と仰られています。

親愛なる兄弟姉妹の皆様。家族はあらゆる社会において見られる社会的な構造であり、感情の学び舎でもあります。人がそこで生まれ人生と出会う神聖な場の未来は、決して気の向くままの欲求や悪意に委ねてはいけません。基盤は健全なものであるべきであり、その継続のためにあらゆる献身をなす必要があります。

私たちの教えが進めている理想的な家族は、そのメンバーが助け合い、互いの愛情や敬意、献身の上に成り立ちます。人はそれぞれが異なる一つの世界です。女性と男性はそれぞれの性に固有の能力によって一つの豊かさを生み出します。だから家族のメンバーの間の違いは分裂ではなく融合を生み出すものであるべきです。

今日のフトバを、預言者ムハンマドの一つの警告で締めくくります。「ニカーは私のスンナである。私のスンナから遠ざかるものは誰でも、私からも遠ざかるのだ」